

【参考資料】銅鏡（模造品）の製作方法

銅鏡（模造品）は、次のような方法で製作しました。モデルの画文帯
神獣鏡は、直径21cmでしたが、銅鏡（模造品）は、
ため直径が20.7cmになりました。

① モデルの画文帯神獣鏡からシリコンで型をとる



② シリコンの型から、樹脂の鏡型を作る〈樹脂鏡型①〉 (これに着色するとレプリカ(複製品)になります)

③ ②は錆びた状態の複製で、外周など一部欠けがあったので、円形になるよう、 文字もやや鮮明になるよう樹脂の鏡型を修正〈樹脂鏡型②〉



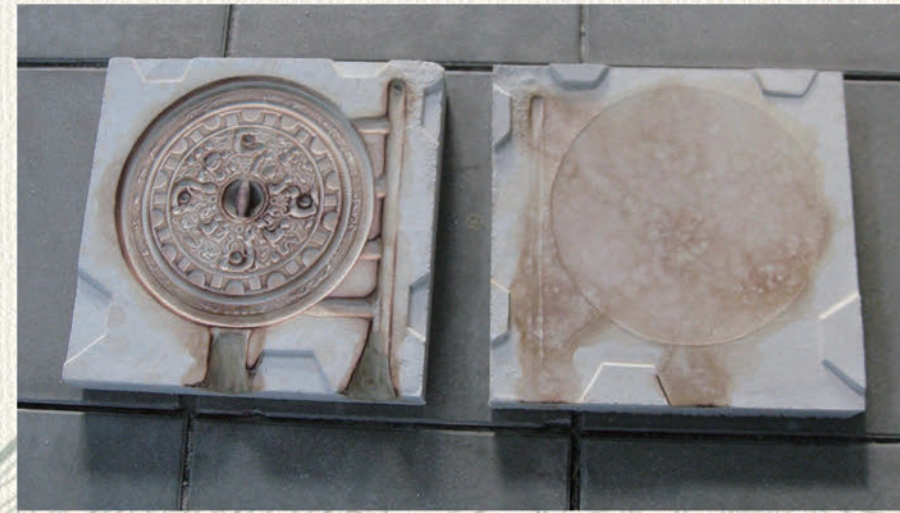
黄色い所が修正箇所



本物の画文帯神獣鏡(井田川茶臼山古墳出土)

④ 砂を使った鋳型で鋳造を行う

(古墳時代の鏡の成分を参考に、銅75%、錫20%、鉛5%の合金)



鋳型



鋳型に合金を注入



鋳型から出した銅鏡(模造品)

⑤ 磨き上げを行う